

事業所名

こどもデイサービスらびい

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		<p>◇ご家族にとって、必要な時にいつでも利用できる場所でありたいと考えます</p> <p>◇こどもたちが楽しめて、ご家族が安心できるように目指します</p> <p>◇それぞれのこどもに合わせた関わりや指導を行っていきます</p>								
支援方針		<p>利用することも達が楽しくすごせるように、そして個々のこどもの障害に応じた方法で様々な感覚に対する感受性を促し、粗大運動機能やコミュニケーションの発達を促すような働きかけを行う。</p> <p>個々のこどもが安全にすごすために、医師の指示書に基づいて医療的ケアを行う。</p>								
営業時間		学校終了時～	10時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし	学校送迎・自宅送迎
		学校休み 土曜	10時	0分	16時	0分		あり	なし	家族送迎をお願いしています
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<p>通所時、健康チェック（体温・脈拍・呼吸・spo2測定）</p> <p>生活習慣や生活リズムを形成するために、基本家での様子や学校などの生活リズムに合わせ自立に向けた支援を行います。（昼食・水分摂取・おやつ・トイレトレーニング）</p> <p>基本的な生活スキルの獲得のために、利用者の皆さんが集まり挨拶（お名前呼びの会）、音楽を通して体を使った運動、個別の活動や仲間との活動を行います。</p> <p>障害の有無に関わらず、年齢に合わせた対応・声かけを行う事で尊厳を守る支援を行います。</p>								
	運動・感覚	<p>姿勢と運動・動作の基本的技能の向上（四肢の運動・立位・歩行・座位保持・車椅子の自走）個々に合わせた身体能力向上や維持に努めるための支援を行います。</p> <p>保有する感覚の活用⇒五感を活用し本人が得意とする感覚運動を強化、更に不得意とする運動感覚を補助する支援を行います。自立に向けた支援を行います。</p>								
	認知・行動	<p>認知の特性についての理解と対応、適切な認知と適切な行動の習得⇒言語だけでなく写真や絵カードなどを使用した知覚的アプローチも取り入れ本人の理解が達成感や肯定的行動へ変わるよう支援します。</p>								
	言語 コミュニケーション	<p>コミュニケーションの基本的な能力の向上（手段の選択と活用）</p> <p>言語の受容と表出⇒言葉になっていなくとも自分の意志表出が出来るよう支援します。（四肢を動かす・瞬き・追視・喃語の発声など）</p>								
	人間関係 社会性	<p>情緒の安定・他人との関り（人間関係）の形成・仲間づくりと集団への参加</p> <p>⇒活動や遊び・イベントを通して仲間（他者）を感じてもらい、チームを作る事で仲間意識（皆で頑張る）を学び、挑戦や失敗を含めた達成感を感じてもらえるよう支援します。</p>								
家族支援		<p>発達・発育の違いや成長の遅れなどに伴い、家族の不安を受け止め相談に乗る事で親の精神的安定に繋がるようお手伝いします。（子供へ対する不安や子供に対する理解の難しさなど）</p> <p>将来への不安やサービスについての困り事など、家族（兄弟児も含む）の相談に対する適切なアドバイスが出来るようお手伝いします。</p>				移行支援		<p>学校選択時の相談や情報提供、関係機関との連携などを行い必要な支援提供を行います。</p> <p>就学への移行や就労へ移行する時の情報提供・連携を行います。</p> <p>学校や他の事業所との併行利用の際に、情報提供・連携した支援を行います。</p>		
地域支援・地域連携		<p>通所する子どもに関わる地域の関係者・関係機関との連携した支援を行います。</p>				職員の質の向上		<p>専門スキルをUPするために、研修を行っていきます。</p>		
主な行事等		別表記載								